



岩江中だより

第 46 号
 発行日:平成28年3月7日
 発行:三春町立岩江中学校
 電話:0247-62-8290
 FAX:0247-62-8380
 E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【岩江中学校同窓会入会式を開催しました。～岩江中学校を見守る力、また、新たに！～】

3月1日(火)の午後、同窓会長新田佳利様ほか、2名の役員様をお迎えし、平成27年度岩江中学校同窓会入会式が開催されました。

同窓会長様より、同窓会入会をご快諾いただきますと共に、励ましのお言葉をいただきましたのでご紹介いたします。このお励ましを心に、今度は同窓生として、岩江中学校を支えていくてくれますようお願いいたします。

《同窓会長様よりの励ましの言葉》(抄)

同窓会入会ありがとうございます。早いもので東日本大震災から5年。その中で、みなさんは、教育目標である『自立』のもと、勉学に励みながら前に進んできたと思います。「文武両道」という言葉どおり、みなさんは、毎日、部活で心身を鍛えた結果、数え切れないほど栄光の記録を残しました。同窓会としてこんなに喜ばしいことはございません。みなさんは、将来、社会人としてそれぞれの職業に就き、働きます。身につけた基礎学力を生かしつつ、この学舎で過ごした友達と故郷を忘れないでほしいと思います。これからますます情報化が進み、とすれば情報に流れ自分の考えをもてなくなってしまいかもしれません。しかし、『自立』があります。自分で判断し、自分の意志で行動できる人間になってほしいと思います。ともに学んだ仲間は皆さんにとってかけがえのない宝物です。どうぞ今まで培ってきた友情も大切にしてください。また、みなさんはボランティア活動で地域の人々のため活動しました。それはみなさんの故郷づくりでもあり、活動により地域のよさや温かさを知ることでもできました。これからは、努力することの大切さや、周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、中学校生活で教わったことを心に刻み、社会人として大いに活躍してくれることを切に願ひ挨拶いたします。



【『命を見つめる日』を実施しました。～自分の、そして、あなたのかげがえのない命！～】

3月4日(金)の1校時目、岩江中学校では、5年前の『3.11』を心にとどめ、生き方について深く、広く考えていく大切な学びの機会ととらえ、2年前から、3月には岩江中学校『命を見つめる日』を行っています。この日も、『命を見つめる日』指導案なるものを作成し、先生方にはお配りし、ねらいがぶれないように心がけると共に、子どもたちの生の声を全体の前で発表する機会も確保しようと考えました。

今回の『命を見つめる日』のテーマは、「自己肯定感と他者受容感」というものでした。昨年の文化祭の職員合唱曲で、復興支援ソング『花は咲く』からスタートしました。その中で繰り返される『私は何を残しただろう。』という歌詞を、『私はどう生きていくか。』と読み替え、先日行われた、1・2年生対象の車椅子バスケットボールを題材に、さまざまな生き方について考え、自分はこう生きるというものを見つけさせようとしてきました。3年生は、これまで15年間生きてきた上で、今、『命』というものをどうとらえ、自らはどうこれから生きていきたいかということを発表してもらいました。また、子どもたちの発表と同時に、いつも朝早くから夜遅くまで一生懸命子どもたちのために働いてくださっている教頭先生の生き方に触れる機会も設けました。たくさんの笑顔の見られる中、自然体の生き方についてお話いただきました。

今回の『命を見つめる日』のねらいであった、(1)一人ひとりに、今の自分をしっかり生きる意思力をもたせる。(2)命の大切さの根拠である、「自由の相互承認のルール」感覚を育む。の達成をめざしての活動でした。さまざまな生き方に触れ、それぞれがこれからの自他の生き方について考える機会となったのではないかと思います。結びは、【校長からのメッセージ】「今日は、岩江中学校『命を見つめる日』です。さまざまな生き方にふれ、あなたは『今』を、そして、『未来』をどう生きますか。人の数だけ生き方があります。どの生き方がよいという事は決められません。しかし、ただ一つ言えることがあります。それは、『今生きている命はたった一つだけ。そして、それは何物にもかえがたい、かけがえのないものである。』



ということです。互いが互いの命を大切に、尊重し、『私にはこれが残せる。』＝『私にはこれがある』を、無い人は一つでも、ある人はできるだけたくさん見つけていただきたいと思います。」でした。

卒業まであと1週間になりました。卒業式にむけて全学年が準備を進めているところだと思います。卒業が近づいている今、中学校生活を振り返り、命を見つめる機会を担当の先生からいただきました。私は3年間の短い中学校生活の中でたくさんのことを学びました。その一つは部活動です。バレー初心者だった私は、自分自身に自信がもてず、それがプレーに出るときがありました。私たちが先輩として活動するようになってからは、練習や試合をする回数が増えました。山形遠征の時には、試合着のまま雪の中を走ったことを今でも覚えています。そんな辛い練習と一緒に乗り越えてきた仲間と挑んだ中体連では、岩江中らしい活気のある試合で終えることができました。技術や精神を鍛えられたのはもちろん、礼儀作法や上下関係、努力の大切さを学びました。2年2ヶ月の部活動で私は大きなものを得ることができました。そして、今の時期の3年生は、Ⅱ期試験にむけてがんばっています。私は国際関係が学べる高校に進学することになりました。父が海外事業の仕事に就いているので小さいころは海外に住んでいました。だから、国際文化に元々興味があり、さらに理解を深めたいと思っています。そして、高校では、好きなダンスを続け、夢にむかって努力し続けたいと思っています。私たち3年生は、卒業するという意識が高まり、一日一日を大切に過ごしています。一人ひとりの個性が強く元気な人が多いのでとても楽しい学年です。卒業して離れるのは寂しいですが、お世話になった先生方、支えになってくれた家族にむけての感謝の気持ちを卒業式で伝えたいと思います。そして、1・2年生のみなさん、私たちが卒業しても、一緒に過ごした日々は忘れません。これからもがんばってください。

(3年)

私は中学3年間のさまざまな場面でたくさんのことを学び、その学んだことを自分のものとしていきました。まず1つめは、部活動のことです。私は卓球部に所属していました。卓球は個人スポーツであるため、私はそのシビアなスポーツの中で、「責任」ということを学びました。ある試合でのこと。あと1勝すれば上にいくことができたのに、私が出た試合で敗退してしまい、上に行けなかったのです。私はその時改めて「責任」という言葉を再認識しました。2つめは、学校行事で、「協力」ということを学びました。3年生、最後の文化祭練習の時のこと。そこでは、自分の役割・演技の質を高めることはもちろんのこと、他の人の役割・演技の質も一緒に高めようとする姿勢がたくさん見られました。私はその姿にとっても感動し、周りを見渡すと、クラスみんなが一つになった感じがしました。そうして本番を迎えました。私たちの演技が終わった時、その劇の成功をみんなが讃え合いました。「責任」「協力」は誰もが知っている言葉ですが、私のこの3年間はそのような当たり前の言葉を改めて深く知った3年間でした。私は今後、この3年間で学んだことをこれからの人生に役立てていきたいと思っています。

(3年)

私の中学校生活を改めて振り返ってみると、部活ばかりの日々だったと思います。その中でも特に印象に残っているのは最後の中体連です。最後の最後にボールに追いつけず、負けたと分かった瞬間、やるせない気持ちがこみ上げてきました。どうしてあの時もっと練習しておかなかったんだろう。どうしてあのボールを拾えなかったんだろう。負けた後には後悔がずっと残っていました。あの時の悔しさは今でもよく覚えています。部活をやっているとき、高校ではスポーツ系の部活に入らないようにしようと思っていました。しかし、いざ部活を引退すると、スポーツをしたいと思うようになりました。高校で入る予定の部活も体を動かせる部活を選びました。高校生になってからの目標もできました。絶対かなえないという目標です。1・2年生にも、各部活動、目標があると思います。目標達成できるようにぜひがんばってほしいと思います。私たち3年生は来週金曜日が卒業式です。一人ひとり違え道に進みますが、残りの1週間、思い残すことがないように過ごしたいと思います。1・2年生のみなさん、これから先、部活や勉強、たいへんなことや苦しいことがたくさんあると思います。でも、思い返したとき、後悔しないように、残りの学校生活を送ってほしいと思います。私も自分の進みたい道を明確にし、一日一日を大切に過ごせるような生き方をしていきたいです。

(3年)

僕は将来、文系に関する仕事に就きたいと思っています。やはりそのためには、勉強と努力が必要だと考えています。僕は特に社会科が好きなので、高校に入学したら文系の授業を専攻したいと思っています。入学予定の高校が決まった僕は高校に入って困らないように、苦手な英語、数学の参考書を使い、テストで高得点をとれるようにがんばっています。高校卒業後は大学の文学部に入れるように、土日、長期休みの時は、過去問をやったり、予習・復習をしっかりとこなしたりしたいと、目標にむかっていけるように努力をしたいと思っています。高校の勉強内容は中学校の勉強内容よりも大幅に増えるので、授業についていけるようにするためにも、忘れてしまった単元を一から勉強し直し、力をつけていきたいです。部活動では、中学校で野球部に所属していました。初心者でしたが、毎日練習していく中で、徐々にできるようになっていきました。辛いときもありましたが、最後の民報杯では、ゲッツーをとることができ、うれしく思いました。高校からは和太鼓部に所属したいと思っています。テレビのニュースなどで拝見し、太鼓をたたいている姿にあこがれ、ぜひ入ってみたいと決意しました。部活動で活躍できるように日々練習を続けていきたいです。勉強と部活動を両立できるようにがんばって過ごしていきたいです。

(3年)